

棚田ふぁむ

棚田ふぁむの結成

全国棚田サミット開催に向けて、和歌山県が平成22年に開催した棚田モニターツアーに参加、耕作放棄地が増加する棚田の現状を目の当たりにする。和歌山県と有田川町からの棚田保全活動の提案によって学内で参加者を募り、棚田ふぁむ結成。

平成23年度から有田川町沼地区で活動を開始。現在まで10年間活動。当初は棚田の保全を目的に活動していたが、現在は棚田と棚田を保全する地域の人を支える活動をしている。



有田川町沼地区

和歌山県中央部に位置し、「日本の棚田百選」に選定された「あらぎ島」をはじめとして、多くの棚田が点在しています。急傾斜地の棚田が美しく、近年では「ぶどう山椒」の栽培も盛んです。ただ、高齢化が進み、沼地区の人口割合はほとんどは高齢の方が占めています。そのため、棚田やぶどう山椒もいまはその方たちが栽培可能でも、後継問題や自分たちで栽培ができるかという問題が深刻です。

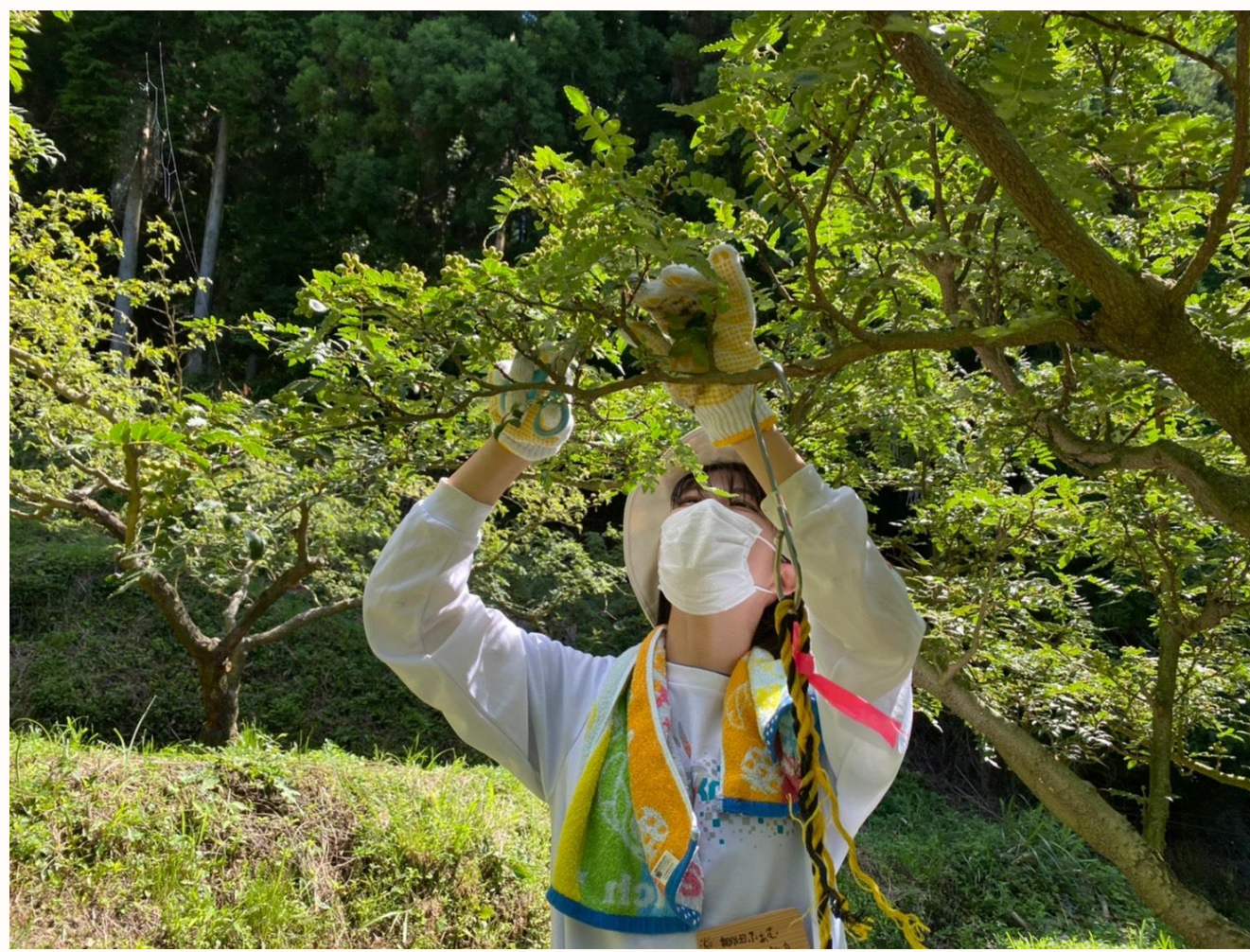


活動内容



新メンバーとの顔合わせ

6月



山椒収穫支援活動

7月



稲刈り・草刈り

10月



ワークショップ

12月

コロナウイルスの流行により、新メンバーを加えての初めての活動はオンラインでした。今年度は、週に1度の定期ミーティングなどは対面・オンラインどちらでも参加可能なハイブリッド形式で行いました。

今年度初めての対面活動ができました。活動の際にはマスクの着用やソーシャルディスタンス、アルコール消毒など制限はたくさんありましたが、その中でも地域の方との交流を楽しむことができました。

今年度2度目で最後の対面活動でした。久しぶりの活動を楽しむことが出来ました！また、この日は沼地区周辺の絶景スポットにも行ってきました。自然豊かで、オススメです！！

この2年間は思うように活動が出来ておらず、もどかしい気持ちでいっぱいです。私たちLIPのあるべき姿や今後の目標などを改めて考えるためにワークショップを開催しました。思う存分活動できる日が早く訪れることを願うばかりです。

今年度の総評

- ・ 稲刈りや草刈りは大変だけどとても**達成感**がありました。
- ・ 農業で機械化が進んでいるとはいっても、どの農作業も力や体力が必要だったので、少しでも**軽減できる工夫**や、**若者が必要**だと改めて思いました。
- ・ 日本の**食料自給率の低下問題**の現実を体感しました。
- ・ 地域の人と色々な話をして**交流**することができて嬉しかったです。